

台風18号の接近に伴う農産物等の被害防止に向けた 技術指導の徹底について

1 対応方針

非常に勢力の強い台風18号が接近しており、予報によると8日（木）に本州等に上陸する可能性があり、大量の降雨によるほ場の冠浸水や風害等の被害が出る事が予想される。

このため、農作物への影響をできるだけ最小限に止めるため、農業現場での被害予防策、被害が出た場合の生育の回復策等の対応のポイントを示し、都道府県の普及指導員等による現場指導を推進する。

2 技術指導の主な内容

(1) 共通事項

- ・ 農業共済組合との連絡体制を整備し、被害査定の円滑化をはかること
- ・ 冠浸水時の速やかな排水に備えること
- ・ 事故防止の観点から台風通過後大雨や強風等が治まってからほ場の見回り等を行うこと

(2) 水稻

- ・ 倒伏や穂発芽の発生の懸念される場合の速やかな収穫作業
- ・ 被害籾の分別による乾燥・調製作業の実施

(4) 麦・大豆

- ・ 麦においては、発芽不良が見られる場合の再播種の実施
- ・ 大豆においては、冠浸水等による病害虫発生を抑制するための適切な防除の実施

(5) 野菜

- ・ 取付金具の点検等の園芸施設の防風対策の徹底
- ・ 台風通過後の土寄せ、追肥や防除の徹底等による生育の回復

(6) 果樹

- ・ 防風施設の点検、倒伏しやすい樹木の支柱等での補強
- ・ 落果、倒伏、枝折れ等への対応

(7) 花き

- ・ 取付金具の点検等の園芸施設の防風対策の徹底
- ・ 寒冷紗での被覆等による風害の抑制

(8) 畑作物・特産物

- ・ さとうきび：表土流亡による根浮きに対する覆土の実施や塩害が懸念される場合の葉面除塩の実施
- ・ 茶：防霜ファンや排水溝等の施設の点検・補修、潮風害への対応
- ・ こんにゃく：葉の損傷等が発生した場合の薬剤散布の徹底

(9) 畜産

- ・ 事前に避難場所を確認し、状況に応じた家畜の避難等の実施及び衛生管理の徹底